



## 平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年4月8日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8127 URL <http://www.yamatointr.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 高橋 俊輔 TEL 03-5493-5629  
 経理部長兼IR室長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日 配当支払開始予定日 平成28年4月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績（平成27年9月1日～平成28年2月29日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	11,801	0.2	481	16.4	500	5.8	283	26.3
27年8月期第2四半期	11,774	△6.8	413	△16.0	472	△10.3	224	1.1

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 △35百万円 (-%) 27年8月期第2四半期 485百万円 (52.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	13.31	—
27年8月期第2四半期	10.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年8月期第2四半期	30,033	21,460	71.5	1,007.43
27年8月期	28,488	21,623	75.9	1,015.08

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 21,460百万円 27年8月期 21,623百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00
28年8月期	—	6.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年8月期の連結業績予想（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	0.1	320	38.8	370	2.4	150	34.2	7.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年8月期2Q	21,302,936株	27年8月期	22,502,936株
② 期末自己株式数	28年8月期2Q	673株	27年8月期	1,200,192株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年8月期2Q	21,302,511株	27年8月期2Q	21,303,993株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、(添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、中国やアジア新興国の下振れ等の海外経済の不確実性の高まりや、日本銀行のマイナス金利導入による金融市場への影響等のリスクも存在しており、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当業界におきましても、こうした環境が消費者の購買心理に与える影響は大きく、依然として厳しい状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループでは中期ビジョンとして掲げた「先10年戦える“小売型アパレル”への転換」を実現するため、収益基盤の安定を図ると共に、成長に向けた積極的な投資を行っております。

販売面では、当社最大の基幹ブランドである「クロコダイル」を成長事業として位置付け、集中的に投資を行い収益の拡大を図っております。また、会社設立70周年に向けた新規事業の開発及び不採算事業を整理する最終年度とし、更なる会社の成長と収益性の高い事業の構築を目指しております。

国内の店舗展開につきましては、前期末より18店舗増加し、919店舗となりました。

なお、不動産賃貸事業につきましては、引き続き東京本社ビル及び日本橋ビル等、自社物件の有効活用に努めております。

調達面では、生産拠点の東南アジア比率拡大による生産コストの削減を進めながら、諸業務の効率化を図り、引き続き「ローコスト経営」に努めております。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努め、布帛シャツ及びアウター等の製造を行う上海雅瑪都時装有限公司では、品質の向上と生産ラインの効率運営に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、増収増益になりました。売上高が118億1百万円（前年同期比0.2%増）となり、利益面では売上総利益率は45.9%と1.5ポイント低下しましたが、販売費及び一般管理費の改善等により、営業利益は4億8千1百万円（前年同期比16.4%増）、経常利益は5億円（前年同期比5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8千3百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業116億8千5百万円（前年同期比0.3%増）、不動産賃貸事業1億1千5百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は171億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ23億9百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品の増加2億8千8百万円であります。現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は98億1百万円から15億7千9百万円増加し113億8千1百万円となりました。受取手形及び売掛金の残高は2千6百万円増加し、20億1千4百万円となりました。

## ②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は128億7千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億6千4百万円減少いたしました。主な要因は、有形固定資産の減少1億1千3百万円、投資有価証券の減少1億6千万円、差入保証金の減少5億5百万円であります。

## ③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は68億7千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億2千7百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加19億1千3百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少4千7百万円、未払法人税等の増加9千3百万円であります。

## ④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は16億9千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ1千9百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の増加1億1千6百万円、退職給付に係る負債の減少4千8百万円、繰延税金負債の減少4千7百万円であります。

## ⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は214億6千万円となり、前連結会計年度末と比べ1億6千3百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加1億5千5百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億1千3百万円であります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.9%から4.4ポイント低下し、71.5%となりました。

なお、自己株式の消却を実施したことにより、資本剰余金及び自己株式が6億5千6百万円それぞれ減少しておりますが、純資産に与える影響はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成27年10月9日発表の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,150,431	4,929,678
受取手形及び売掛金	1,987,907	2,014,864
有価証券	5,650,806	6,451,502
商品及び製品	2,480,228	2,768,334
仕掛品	72,392	90,669
原材料及び貯蔵品	46,022	69,160
繰延税金資産	151,296	159,534
その他	313,210	677,775
貸倒引当金	△436	△508
流動資産合計	14,851,860	17,161,010
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,046,590	1,935,095
機械装置及び運搬具(純額)	41,575	37,367
土地	7,931,184	7,931,184
リース資産(純額)	43,871	36,514
建設仮勘定	—	2,392
その他(純額)	81,282	88,499
有形固定資産合計	10,144,504	10,031,053
無形固定資産	78,023	66,841
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,295,711	2,135,202
差入保証金	1,003,023	497,562
繰延税金資産	10,316	43,676
その他	124,780	126,837
貸倒引当金	△19,336	△28,436
投資その他の資産合計	3,414,496	2,774,842
固定資産合計	13,637,024	12,872,737
資産合計	28,488,884	30,033,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,586,470	5,500,116
1年内返済予定の長期借入金	140,003	92,337
未払法人税等	101,991	195,258
賞与引当金	113,196	104,799
返品調整引当金	28,000	27,000
ポイント引当金	63,646	54,692
資産除去債務	46,532	44,828
その他	1,070,760	859,179
流動負債合計	5,150,600	6,878,212
固定負債		
長期借入金	1,150,000	1,266,000
退職給付に係る負債	172,170	123,547
資産除去債務	126,419	114,981
繰延税金負債	47,391	—
その他	218,331	190,571
固定負債合計	1,714,312	1,695,100
負債合計	6,864,913	8,573,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	4,988,692
利益剰余金	10,907,511	11,063,146
自己株式	△656,376	△357
株主資本合計	20,813,694	20,969,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	469,146	255,674
繰延ヘッジ損益	△25,955	△61,319
為替換算調整勘定	295,815	226,151
退職給付に係る調整累計額	71,269	70,793
その他の包括利益累計額合計	810,276	491,300
純資産合計	21,623,971	21,460,435
負債純資産合計	28,488,884	30,033,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	11,774,412	11,801,131
売上原価	6,196,339	6,380,405
売上総利益	5,578,072	5,420,725
返品調整引当金戻入額	31,000	28,000
返品調整引当金繰入額	31,000	27,000
差引売上総利益	5,578,072	5,421,725
販売費及び一般管理費	5,164,760	4,940,679
営業利益	413,312	481,046
営業外収益		
受取利息	16,180	7,730
受取配当金	14,015	15,706
為替差益	22,209	—
受取補償金	2,660	—
その他	15,599	23,799
営業外収益合計	70,664	47,235
営業外費用		
支払利息	10,732	10,087
為替差損	—	6,104
貸倒引当金繰入額	—	9,100
その他	557	2,778
営業外費用合計	11,290	28,071
経常利益	472,686	500,210
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,742
特別利益合計	—	34,742
特別損失		
固定資産除却損	29,923	3,405
投資有価証券売却損	—	1,583
減損損失	40,834	52,106
特別損失合計	70,758	57,095
税金等調整前四半期純利益	401,927	477,857
法人税、住民税及び事業税	181,633	165,235
法人税等調整額	△4,139	29,170
法人税等合計	177,493	194,405
四半期純利益	224,433	283,451
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	224,433	283,451



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)
四半期純利益	224,433	283,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141,760	△213,472
繰延ヘッジ損益	20,357	△35,363
為替換算調整勘定	99,198	△69,664
退職給付に係る調整額	△400	△476
その他の包括利益合計	260,916	△318,976
四半期包括利益	485,350	△35,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	485,350	△35,524
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	401,927	477,857
減価償却費	168,444	121,129
減損損失	40,834	52,106
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△7,284	△8,954
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	9,172
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△20,226	△48,622
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,027	△7,756
受取利息及び受取配当金	△30,195	△23,436
支払利息	10,732	10,087
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△33,158
固定資産除却損	29,923	3,405
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,499	△33,828
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△531,177	△347,013
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,761,473	1,915,869
その他の資産の増減額 (△は増加)	15,517	43,807
その他の負債の増減額 (△は減少)	△93,765	△237,356
その他	309	11,473
小計	1,726,954	1,903,782
利息及び配当金の受取額	30,166	24,881
利息の支払額	△10,753	△10,167
法人税等の支払額	△245	△85,661
法人税等の還付額	96,664	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,842,786	1,832,834
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19,290	△34,704
定期預金の払戻による収入	219,290	34,704
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△78,317	△84,662
無形固定資産の取得による支出	△2,215	△1,163
投資有価証券の取得による支出	△206,289	△304,030
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	234,292
差入保証金の差入による支出	△30,154	△128
差入保証金の回収による収入	135,253	53,351
その他	△17,281	△28,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,995	269,441
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△333,666	△131,666
自己株式の取得による支出	△243	△194
配当金の支払額	△170,434	△127,816
その他	△10,066	△8,929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,410	△68,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,617	△27,830
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,764,989	2,005,838
現金及び現金同等物の期首残高	10,234,257	9,305,933
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,999,246	11,311,772

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月9日開催の取締役会決議に基づき、平成27年10月27日付で、自己株式1,200,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ656,213千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,988,692千円、自己株式が357千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,652,309	122,102	11,774,412	—	11,774,412
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,652,309	122,102	11,774,412	—	11,774,412
セグメント利益	728,094	57,417	785,511	△372,199	413,312

(注)1. セグメント利益の調整額△372,199千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「繊維製品製造販売業」セグメントにおいて、40,834千円の固定資産の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,685,575	115,556	11,801,131	—	11,801,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,685,575	115,556	11,801,131	—	11,801,131
セグメント利益	840,914	31,103	872,018	△390,971	481,046

(注)1. セグメント利益の調整額△390,971千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「繊維製品製造販売業」セグメントにおいて、52,106千円の固定資産の減損損失を計上しております。